

紅葉坂

# 教会だより

2016年4月号 No.1  
横浜市西区宮崎町1  
日本キリスト教団  
紅葉坂教会  
牧師 戸谷悦夫

説教

## 「私の羊を飼いなさい」

外谷悦夫

ヨハネ福音書 21章 15節〜25節

ペトロはイエスから愛しているかと3度問われ、それはあなたがご存じですと3度答え、イエスの小羊を飼いなさい、羊の世話をしなさい、羊を飼いなさいと、ペトロが嫌になるくらいに言われま

す。そして、他の人と比べることなく、あなたはわたしに従いなさいと釘をさされます。ヨハネの福音書は21章で閉じられ、4つの福音書の最後の場面がイエスを愛するか、イエスの羊を飼いなさい、世話をしなさい、イエスに従うかとのペトロへの勧告で終わります。そして使徒言行録が始まります。使徒言行録にペトロがイエスに言われたことの実際の答えがあります。彼はイエスの委託に応えているのでしょうか。

使徒言行録はイエスの昇天と聖霊降臨の出来事から、ペトロがイエスこそ救い主であることをエルサレムの人々に伝え教会が出来ていったことを伝えます。そしてエルサレムの権力者から弾圧が起こります。その時、いわゆる使徒と言われるペトロをはじめとする人々はエルサレム当局の指示を受け入れ、エルサレムに残ることを選びます。ギリシヤ語を話す人々はエルサレムから追われ、ユダヤとサマリヤ地方に散って行きました(使徒言行録8:1後半〜2)。散らされた人の一人であるフィリポがサマリヤでイエスを伝え教会ができます。そこに、ペトロとヨハネが登場します。洗礼だけでなく聖霊も受けるようにと進め、エルサレムの教会の正統性を主張しサマリヤの人々を支配します(使徒言行録8:4〜25)。さらに異邦人教会支配の方向は第1回目の使徒会議で押し進められます(使徒言行録15章、ガラテヤ2章)。ここでは次のことが決められたようです。肉に関する取り決めとみだ

らな行いを避けること(使徒言行録15章)、そして、貧しい人たちのこと(エルサレムのイエスを信じる人々)を忘れないようにすること(ガラテヤ2章)。この最後の貧しい人たちを忘れないこととは具体的には、異邦人教会からエルサレム教会への献金を指しました。パウロは命をかけて約束を実行します(使徒言行録20:1〜5、ローマ15:22〜33、1コリント16:1〜12)。これはエルサレム教会への従順を表します。ペトロたちは組織を守るため異邦人を見捨て、さらにエルサレム教会の正統性の主張をしたことが分かります。

ところで、ヨハネによる福音書は1世紀終わりに現在の形になったと言われます。その頃には60年から70年の教会の歴史が目の前にありました。ヨハネによる福音書にはペトロ、アンデレ、ヤコブ、ヨハネという最初にイエスに従ったと言われる弟子たちがほとんど現れません。これは彼らへの批判がマルコとは違う角度で強烈にあったことをうかがわせます。それはペトロたちがエルサレム教会の正統性と組織を守り、力を用い、異邦人教会を支配していった歩みがあったからでしょう。私たちはどうでしょうか。初期の日本基督教団は？それはペトロたちの行動と重なります。当時の政治体制の中で生き延びることを選び、神

社参拝を強要しました。再臨信仰の強いホーリネス系統の教会の人々を政府に差し出し、教会の解散を命じました。戦後の教会はどう動いたでしょうか。その弱さを告白し、謝罪し赦しを請う歩みの時代もありましたが、今は？あなたは、今、イエスを愛しているか、羊を飼い、世話をしているか。飼うこと世話をすることは、非常に具体的なこと。弱さの鍵が開けられるかにある。それは、イエスの愛した弟子はどうなるのだというような競争や地位ではなく「あなたはわたしに従いなさい」という言葉が示しているように、イエスと私の関係なのです。イエスの語った福音は、人間の組織やその支配体系を守るためにあるのではない。弱さを持った人間が互いにその弱さを担い合い、一人の人が生きるように、組織を生かすことできます(2コリント3:6)とパウルは言います。霊の最たるものは愛です。今、愛してください。イエスの招きに応えイエスから託されている飼うこと、世話をすることに心を尽くしていきましょう。そこに復活のイエスとの出会いがあります。4月14日夜から熊本で大きな地震が起きています。私たちは、被害に合われた方々を思い、祈り、具体的な援助をしていきましょう。(16年4月17日礼拝説教要旨)